

「関係の質を高める」

～ 互いに認め合い、信頼感を育むことで始まる組織論から学ぶ ～

副校長 岡野 隆

夏季休業日明けに開催されました土曜公開及び保護者会には多数ご参会賜りましたことに心より御礼申し上げます。また今月は、13日(木)より3日間にわたって学校公開週間となります。マスクの着用やご自宅での検温、手指のアルコール消毒等、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じての開催となりますが、何卒ご理解の上、多くのご参会をお待ちしております。

さて、最近読んだ書籍で、アメリカ合衆国の大学の元教授が提唱している組織論の一つで、組織をよい方向に導くための「組織の成功循環モデル」という理論が目にとまりました。その理論によると、組織が成果を上げ続け、成功や成果といった組織としての結果の質を高めるためには、一見遠回りに見えても、その組織に所属するメンバー相互の関係の質を高めることが重要であるということです。具体的には、

- ①「関係の質」
→②「思考の質」
→③「行動の質」
→④「結果の質」
→⑤「関係の質」



というプロセスが循環することにより、その組織は成功や成果といった結果の質を高めることができるそうです。組織のメンバーの「関係の質」が高まれば、互いに認め合い、信頼感が生まれる。すると、メンバーと一緒に考えるようになり、組織内で意思決定に関する興味・関心が高まり、納得した承認の機会が増える。組織内の意思決定に興味・関心や納得感が高まれば、メンバーの自発的行動や責任ある行動につながる。そしてエラーが少なくなり、よりよい結果がもたらされるというものです。

これとは逆に、よくないサイクルは、「結果の質」から始まるというものです。結果が思うようにいかないと、「誰が」ということとなります。すると当然ながら関係は悪くなります。関係が悪くなれば一緒に考えることもなくなり、誰かがやるだろうという責任感の欠如につながります。成果を上げることができず、結果の質は更に下がっていきます。こうならないためには「メンバーの関係の質」を高めることが大切になっていきます。

この組織論は、どの組織でも当てはまることだと思います。学校生活に置き換えるならば、学級や学年ということになるでしょう。早いもので今年度も折り返し地点を過ぎたところです。6か月後には6年生は中学校という新しい学びのステージに進みます。1年生から5年生は一つ上の学年に進級します。今まで積み上げてきた「良質な関係の質」をさらに高めていくことにより、どの児童も希望と期待を胸に抱き、新しい年度を迎えることができるように、これからも教育活動の充実に努めて参ります。

青山小 体罰ゼロ宣言

「ちょっと待って!深呼吸して心にゆとりを」

～伝えるときは、愛ある言葉に変換しよう!～

本校では、全教職員でこのスローガンの共通理解を図り、【大人が守る!子供の権利、子供の未来】を合言葉に体罰や不適切な言動の根絶に向けて取り組んでいきます。

箱根移動教室

9月20日(火)～22日(木)の2泊3日、箱根移動教室へ行ってきました。1学期から箱根について調べ始め、グループ決めや係活動を行ってきました。

グループ活動やキャンプファイヤーなどを通して、子供たちが「責任」をもって係や活動に取り組み、仲間と「協力・助け合い」ながら行動を共にして、移動教室にあたり、たくさんの方のお世話になっていることに気が付き、「感謝」をしました。

気が付けば、小学校生活ももう半年。日々の授業や行事など、「あたりまえ」に過ごしていることが「ありがたい」ことだと感じながら、学校生活をより充実したものになるよう、指導を重ねてまいります。

6年担任



2年生より

2年生は、生活科の学習の中で、青山の地域の良さを発見しようと近隣の施設や商店などに見学に出向き「まちたんけん」をしてきました。近代的な建物が並ぶ場所に、意外にも古くから歴史ある建物があることに驚いた様子を見せていました。その他にも「ののあおやま」に見学に行き、この地域を100年先まで守り、次世代に子供達に伝えたいという思いを共有し、自分達にできることを考えています。その取り組みとして、給食のストローなどのプラスチックごみを減らす工夫をしたり、食べ残しを減らし洗う人のことを考えて給食をきれいに食べようとしたりして頑張っています。

2年担任



今月の目標

生活目標 身体をきたえよう
 保健目標 目を大切にしよう
 給食目標 元気に運動し丈夫なからだをつくろう

10月の行事予定

日	曜	主な行事予定
1	土	都民の日
2	日	
3	月	全校朝会 委員会 ○
4	火	6年連合運動会 3年あいさつ運動(～7日)
5	水	安全指導 1・2年生活科見学
6	木	4年青山特別支援学校出前授業 ●
7	金	学級活動 あすなる合同運動会
8	土	
9	日	
10	月	スポーツの日
11	火	
12	水	避難訓練
13	木	学校公開(～15日) ●
14	金	読書集会 1・2年セーフティ教室 学校説明会
15	土	PTA フェスティバル
16	日	
17	月	全校朝会 クラブ 通知表配付 秋の視力検査(～21日)
18	火	読み聞かせ 2・3年ダンス教室
19	水	木曜時程
20	木	午前授業 4年青山特別支援学校校外学習 ●
21	金	たてわり あすなる校外学習
22	土	
23	日	
24	月	全校朝会 4年タグラグビー教室 ○
25	火	地域清掃
26	水	午前授業(特別時程) 就学時健診
27	木	午前授業 ●
28	金	体育朝会 6年美しいまち
29	土	
30	日	
31	月	全校朝会 委員会

●○・・・カウンセラー来校日

※予定は変更になる場合があります。

特別支援教室の通級及び学習支援員の配置(令和5年度1学期)の申込みについて

平成28年度から、発達について気になる児童を対象に、生活面や学習面での困難を克服・改善するための指導を行うために、本校において通級指導を行う特別支援教室(すてっぷあっぷ教室)を開室しております。

また、通常の学級の教室での一斉指導において、苦手な部分を補う等、個別的な支援を行うために学習支援員を配置しているところです。

現在、これらの支援を受けておらず、今後、特別支援教室の通級あるいは、学習支援員の配置を希望される保護者の方は**10月11日(火)まで**に、担任、特別支援コーディネーター、または副校長に御相談ください。

※なお、来年度以降も継続して特別支援教室の利用や学習支援員の配置を希望される保護者の方につきましても、**10月11日(火)まで**に、担任、特別支援コーディネーター、または副校長に連絡してください。



～SDGsにつながる学校の学びの様子～

学校生活の中にも、いろいろなところに(1年)

「一口作戦に協力してくれる人。」の言葉かけに、手を挙げる子供たち。給食を食べ終わりそうな1年1組の教室では、時々聞かれる魔法の言葉です。「あと一口なら・・・。」と数名が協力してくれると、配膳台に並ぶ食缶の中身は空っぽに！

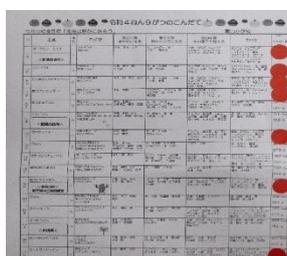
9月に入り、子供たちの体も4月に比べると大きくなり、少しずつ食べられる量が増えてきました。苦手な食べ物にも「一口」挑戦する子も出てきました。

1年生の学校生活の中には、SDGsの意識をもって子供たちが取り組める場面が多々あります。

7月に行ったお楽しみ会「なつまつり」では、グループになり出したいお店の商品や道具を折り紙や段ボールを使って作りました。「なつまつり」を楽しんで終わった後は、さあ、後片付け！普段から青山小学校には、環境委員会が用意した紙のリサイクルボックスがあるので、子供たちはそこに捨てるのかと思いきや、折り紙で折って作った紙風船を一枚一枚開いては伸ばし、伸ばしては集め・・・「まだ、使える！」と。

子供たちの意識の中にはないかもしれませんが、二つの場面は「SDGs:12つくる責任つかう責任」のフードロスの問題やリサイクルやリユースの問題に繋がってきます。

学校生活の中で「もったいない！」という場面に出会ったとき、自分達で気付いて行動できる1年生になってほしいなと思います。秋からは、校庭や公園にも探検に出かけ、青山小学校の自然や生き物にも目を向けていきたいなと思っています。



完食した日は、献立表にシールを貼り、意識付けていきます。

折り紙などもまた違う形で使えるように集めています。

9月 青山小 生活の様子

SNS 教室(3・4年生)



伊藤忠ワークショップ(4・6年有志)



水道キャラバン (4年生)



お掃除教室 (1年生)



移動教室 ～箱根ニコニコ学園～ (6年生)

